



動労連帯高崎

国鉄高崎動力車連帯労働組合

〒360-8799 埼玉県熊谷郵便局私書箱56号
srkcjp@yahoo.co.jp 048-722-7107 (FAX共)

2016年2月26日 No. 140

動労連帯、団体交渉を申し入れ

T T Sは3月20日までに団交を開催し誠意ある回答を！

JR 高崎鉄道サービス株式会社
代表取締役社長 水上 陽介 殿

国鉄高崎動力車連帯労働組合

申し入れ

諸課題に関する解明と諸要求について申し入れを行うので、3月20日までに団体交渉を開催し誠意ある回答をされたい。

1. 社員登用制度について

- (1) 社員登用基準について明らかにされたい。
- (2) 希望者は、誰もが社員になれる制度とされたい。
- (3) 誰もが納得出来る登用基準になっているのか、現状を明らかにされたい。

2. 勤務の厳正について

- (1) 管理者の中に過去1年間に、酒気を帯びての勤務実態の報告が有るか、明らかにされたい。
- (2) 誰もが納得できる表彰基準が適用されているのか、明らかにされたい。

3. 職場規律について

- (1) 各職場のハラスメントの実態調査が行われているのかどうか明らかにされたい。
- (2) 万一管理者によるハラスメントが確認された場合の対処を明らかにされたい。

4. 賃金引き上げについて

- (1) 各職の賃金を時間当たり最低1500円の基準で算定されたい。
- (2) 各職に住宅手当を支給されたい。
- (3) 各職に扶養手当を支給されたい。

5. 増員要求について

昨年東京上野ライン開業により籠原での清掃業務量が格段に増えているにもかかわらず、従来要員のままである。現場の労働が過重になったままであり、清掃業務の要員を増加されたい。

6. 構内運転業務に関して、

これまでも繰り返し要請しているとおり、出区点検の省略など安全軽視の運用が目立っている。他方、JR東日本管内での事故があいついでおり、安全点検業務を拡充されたい。

動労連帯は2月19日、T T S本社に対して左記の団交申し入れを行ないました。

■希望者全員を社員にすべきだ
「1」の社員登用制度について、「とにかく基準があいまいだ!」「不合格の理

由がわからない!」「競技会でいい成績あげたのに!」など、社員登用の実態への不満が各職場にうず巻いています。

なにより、「4割が非正規職」のこの時代にあつて、JR東日本は業務をのきなみ外注化し、社員の非正規職への置き換えを進めるなど非正規職化の旗振り役

をつとめています。たしかにT T Sはその子会社ではありますが、勇気をもって正社員登用の門戸をひろげ、労働者の雇用安定・生活改善をはかってもらいたいものです。

■不正な登用は許せない
と同時に、パートから契約社員への登用基準も、「入社して6ヶ月」「突発休しない」といった従来の基準から、何らかの条件をクリアしないと管理者による推薦を受けられない、と変わりつつあるような風潮があります。

私(木村)の入社時は「半年で契約社員だから」という説明しか受けていません。ハードルを設定するのなら、入社時に「半年間で〇〇はクリアしておくように」などの説明をして、そのための指導をするべきだと思います。それなしでいきなりハードルを設定するのは、「労働条件の不利益変更」にあたります。労働者本人の同意なく、労働条件を改悪することは許されません。

埼玉県の労働委員会に相談すれば一発で「是正命令」が出る水準のもので。希望しても契約社員として推薦されないパート労働者は籠原にも高崎にも、何人もいるようです。熊谷では?

(裏に続く)

闘う労働組合に結集して外注化粉碎! 全員の正規職化を勝ちとろう!

■管理者のパワハラこそ問題だ

「3」のハラスメントについては、管理者が、労働者が退職した理由を根拠もなく特定の労働者個人に押し付けたり、管理者の「派閥」に属しない労働者に暴言をくりかえしたり、清掃現場での乗客とのトラブルの責任をやはり根拠もなく特定の労働者個人に押し付けたり、といったパワハラが職場によっては横行しているようです。

労働は現場労働者の共同作業でなされています。パワハラは、管理者がそのことを軽んじ、現場作業を蔑視するからおこることです。いったい誰が車両や駅を日々清潔

■時給1500円は最低の要求

「4」の時給1500円というのは、アメリカをはじめ国際的な「時給15ドル要求」運動に沿ったものです。安倍首相が「時給1000円出してやれ」と言うご時勢に、それと同じやそれ以下の金額を要求できるものではありません。もうひとつは、要員増の要求です。昨年の上野東京ライン開業にともなう業務量の増加にみあった要員増を動労連帯は要求してきましたが、いまもって実現されていません。3月26日のダイヤ改定で籠原ではさらなる業務量の増加が見込まれています。労働者の定着率を

に保ち、お客様が気持ちよく安全に移動できるように身を粉にしていると思っっているのか！ 机に座っている管理者は考え方を根本的に改めるべきだ！ パワハラは根絶なしに、働きやすい職場、安全快適な輸送業務はありません。動労連帯は、団体交渉で闘います。「人事権」「管理権」を振りかざして管理者が個人的利益を追求することは許しません。動労連帯に加入し、日ごろ声にできなかった思いを声にし、現場労働者の団結で、悪質管理者を追放し、未来の仲間や利用者のためにも働きやすい職場環境を実現しよう！

高めるためにも、賃上げと要員増は譲れない要求です。

会社が一発で首をタテに振ると思えませんが、あきらめずに団結を強化・拡大し、生活の向上をたたかいてらう。

これが動労連帯のおもな春闘要求項目です。TTS労組のみならず。労働者の生活はピンチです。税金は上がる一方。株価が下がっても物価は下がりにません。賃上げ要求額などに違いはあるでしょうが、一致できるところでは共同して要求実現のために行動しましょう！

木村洋一（書記長）

定期総会と団結旗開きやりました

動労連帯高崎は1月29日、埼玉県熊谷市内で第32回定期総会と16年団結旗開きを行った。昨年9月、JRの外注会社である高崎鉄道サービス(TTS)でストライキを打ち抜き意気の上がる動労連帯高崎は、激動の16年を闘いぬく方針を打ち立て、団結も固く新たな決戦に突入した。

総会では、最初に漆原芳郎副委員長が、闘病中の和田山繁委員長に代わって委員長代理を引き受けると語った。軽井沢スキーツアーバス事故を「国鉄分割・民営化と2000年以降の規制緩和が生み出した事故だ」と弾劾して、「連帯高崎は労働者が社会の主人公となるために闘う」「動労総連合の一員として組織拡大に進む」と決意を表明した。

来賓としてあいさつした動労千葉の中村仁執行委員は、「動労総連合の大会で3けたの組織拡大を宣言した以上、絶対にそれを実現する決意だ」と述べて、動労連帯高崎を激励した。



経過と情勢、運動方針を漆原副委員長が提案し、16春闘をTTSでの大幅賃上げ獲得に向けて闘いぬく

と強調した。

討論では、JRから出向した管理者の横暴で熟練労働者が退職を強いられるTTS清掃職場の実態を伝える意見が出された。また、管理者のでたらめさや、御用労組そのもののJR総連系TTS労組に怒る労働者から、9月のストライキ以降、動労連帯高崎にさまざま相談が寄せられていることも報告された。議論はTTS清掃職場での組織拡大に向け、直ちに実行に移すべき実践方針をめぐり、白熱したものになった。

非正規で低賃金と長時間労働を強いられ、資本によって日々、労働の誇りを踏みにじられている外注先の労働者の怒りは深い。動労連帯高崎はJR本体と外注先、正規と非正規の労働者が固く団結し、ストライキを打ち抜ける力を持っているからこそ、この怒りと結びつくことができるのだ。

●新役員体制を打ち立てる！

方針を採択し、スト権を確立した後、副委員長に鈴木喜平さんを加え、書記長に木村洋一さんを充てる新役員体制を打ち立てた。

続いて行われた旗開きには、さいたまユニオン、群馬合同労組、埼玉労組交流センター、群馬労組交流センター、婦人民主クラブ全国協や熊谷地区労、国労熊谷支部、部落解放同盟埼玉県連など地域の労組・共闘団体が結集した。団結と交流を深め、動労連帯高崎の組織拡大へ、ともに闘いぬくことを誓い合った。